

## 2018年度 大学自己点検・評価(理工学研究科)自己点検・評価総括用シート 1

## ＜理工学研究科の教育研究目標の進捗状況＞

教育研究目標(タイトル)		評価指標	評価尺度	進捗状況
目標1	高度な専門的知識を有し、国際的舞台上で活躍できる高度専門職業人の育成(博士課程前期課程)。	修論審査基準の開示 修士学生の学会(論文のみを含む)発表数(うち国際学会数)	A: 基準が周知され、国際学会発表数が150件以上 B: 基準が開示され、国際学会発表数が137件以上 C: 基準が設定され、学会発表が367件以上 D: 基準が設定されず、学会発表が367件未満	2018年度目標値 A
				2018年度自己点検・評価後(2018年度帳票提出時点) B
目標2	自立した研究者として必要な深い専門知識と研究遂行能力をもつ人材の育成(博士課程後期課程)。	学会発表数、学振研究員への採用数、学内研究奨励金への採択数 (2014年度実績:学会発表数未集計、学振研究員2名、研究奨励金5名)	A: 120%以上 B: 110%~120% C: 100%~110% D: 100%未満	2018年度目標値 B
				2018年度自己点検・評価後(2018年度帳票提出時点) B
目標3	国際性豊かな研究環境の整備と国際的研究交流の推進。	外国人留学生・外国人研究者の受け入れ人数、及び大学院生における国際学会における発表参加比率	A: 20%アップ B: 10%アップ C: 5%アップ D: 現状維持(100%)	2018年度目標値 C
				2018年度自己点検・評価後(2018年度帳票提出時点) D
目標4	他機関との連携による研究の活性化	連携により招聘した国内客員教員数、連携を通じて発表された修士論文、博士論文の合計数	A: 客員教員数32名以上、論文数20報以上 B: 客員教員数28名以上、論文数15報以上 C: 客員教員数24名以上、論文数13報以上 D: 客員教員数20名以上、論文数10報以上	2018年度目標値 C
				2018年度自己点検・評価後(2018年度帳票提出時点) D

<2016～2018年度の自己点検・評価の取組み総括>

**総括1 <3年間の取組みによって改善したこと、向上したこと>**

- ・ 目標1(高度な専門的知識を有し、国際的舞台上で活躍できる高度専門職業人の育成(博士課程前期課程))は、2015年度に新学科設置を行った効果もあり、修論審査基準が周知され、ほぼ計画どおりに順調に推移しているが、修士学生の国際会議発表件数(89件)が目標を下回った。今後、新学科の直上に設置される大学院新専攻への入学者を確保する等により、最終目標を達成することが期待される。
- ・ 目標2(自立した研究者として必要な深い専門知識と研究遂行能力をもつ人材の育成(博士課程後期課程))に関しては、学振研究員の採択数が3件、研究奨励金受給者が4件であり、目標どおりの進捗を示している。
- ・ 目標3(国際性豊かな研究環境の整備と国際的研究交流の推進)は、大学院における外国人留学生・外国人研究者の受け入れ実績が22名と伸び悩みを示している。学部における外国人留学生の数は順調に伸びているので、今後はこれら留学生の大学院進学を推奨することで、目標値の達成を図る必要がある。
- ・ 目標4(他機関との連携による研究の活性化)は、国内客員教員数23名、国内客員教員指導の論文数9件であり、抜本的な見直しと現実的な目標設定が必要である。

**評価専門委員・所見記入欄:**

■総括1について

- ・ 目標2の「評価指標」が発表数採択数なのに、「評価尺度」が%で示されています。これは、「昨年度比」でしょうか、それとも「2014年度比」でしょうか。目標3についても同様です。もし、「昨年度比」の意味ですと、毎年ノルマが上がっていくのでいささか厳しい条件設定のように思われます。(B)
- ・ 目標3、4について、当初の想定どおりには取り組みが進捗していないようです。その要因を把握した上で、今後の取り組みにつなげていくことを期待します。(C)
- ・ 3年間の取組の適切性に関して、その結果を適切に検証していると考えます。(D)
- ・ いずれの教育研究目標についても、具体的かつ明確な評価尺度を設定し、自己点検・評価に真摯に取り組んでこられたことがうかがえます。引き続き研究科での自律的・積極的な取り組みを期待しています(E)
- ・ 理工学部から前期課程への進学率を2027年に60%を目指すには、現在、検討されている様々な施策と併せて、学部再編が大きなポイントとなる。(F)
- ・ 全体として適切に自己点検及び評価が実施されていると思います。(G)
- ・ 引き続き PDCA サイクルを機能させることで、更なる伸展につながることを期待します。(H)